



議会だより

2011

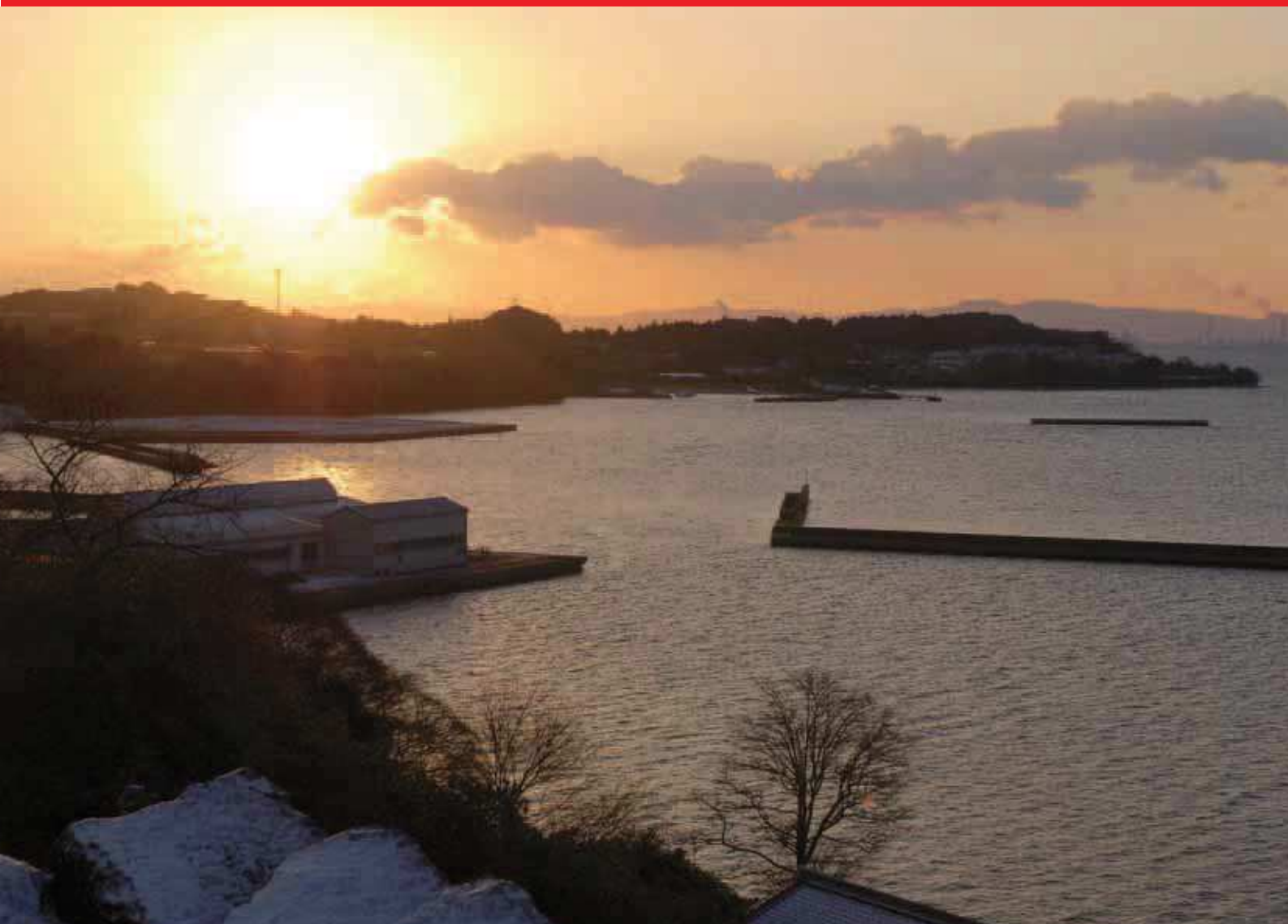
No. 83

題字は日出小6年 かめおか 亀岡 ゆたか 寛 さんです

平成23年1月26日(年4回発行)

発行: 大分県日出町議会

電話: 73-3135



すばらしい一年になりますように(日出小学校からの初日の出)

(撮影: 藤井博幸)

目次

- 22年度補正予算/臨時会2
- 常任委員会4
- 一般質問(6人)6
- 行政視察報告12
- 町民の声14

22年12月定例会

一般会計補正予算 1億8,012万円

平成22年12月定例会が12月8日から15日間にわたり開催され、議案12件を審査しました。一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億8012万円を追加し、補正後の総額を92億1077万円とするものです。予算関連議案6件は予算常任委員会で3日間慎重審議され、可決にいたりました。

予算委員会

町税減収、交付税大幅増額計上

主な歳入

町税

町税収入を決算見込み額により総額

1億2764万円減収

・町民税 9851万円減収
・固定資産税 2913万円減収

地方交付税

交付決定額に基づき3億5000万円増額

国県支出金

事業費の増減に伴い、4316万円増額

財源調整

減債基金繰入金と財政調整基金繰入金を合わせて7423万円減額

主な歳出

公社保有土地購入

現在、土地開発公社が保有している高校跡地のホテル建設予定地と中央公民館北側の駐車場用地を購入
6187万円

保育園にAED

県の安心子ども基金を活用し、町内7保育園にAED、自動体外式除細動器、万里図書館におむつ交換台を設置
305万円

勸奨予防接種

3歳児に対する日本脳炎予防接種の勸奨接種、国が強く勧める予防接種が再開されたことによる不足分
774万円

就農者支援

新規就農者に白ねぎ栽培機械・集出荷施設、輪ギク生産組合の出荷用冷蔵庫を整備
1154万円

観光費

観光パンフレットや観光案内看板、ウオーキングコース案内パンフレットの経費、滝廉太郎顕彰碑保存会に補助
351万円

道路8路線設計・整備

設計委託費
太田線・辻の尾千騎線
則次辻の尾線・鳴川今井線
180万円

維持改良費

南北線・太田線・東中山線
580万円

万願寺大峯線
公有財産購入費
305万円

万願寺大峯線
新規改良工事費
大峯平原線
179万円

万里先生参道整備

帆足万里先生の墓所参道64mを拡幅舗装、手すりやスロープも整備
592万円

和解金

ガレキが出土した区画整理内の土地に係る損害賠償事件の和解金
167万円

不適正経理の返納金

17年・18年度度における地域子ども教室推進委託事業委託費返納金
134万円



議会改革調査特別委員会 一つ一つの項目を審議中

※1 県地域教育力再生プラン運営委員会から委託を受け、17年・18年度に行われた地域子ども教室推進事業の委託費が、認定されていない事業や事業の準備片付け、諸会議などの飲食代にあてられ、不正経理として、県から指摘を受けました。委員会では、現金の取り扱いや領収書の不備、事業に対する認識不足、また、会計検査で指摘を受け委託費を返納するなど前代未聞であると教育委員会を正しました。再発防止に全力で取り組み、二度とこのようことがないよう指摘しています。

議会改革調査特別委員会

公平・透明性を確保し、町民に開かれた、町民の意見を反映させる議会を目指し、また、増大する行政需要と厳しい財政状況との整合性を図りながら、分権型社会に適合できる体制を構築するために、現在、議会運営のあり方について議会が自ら改革の方向を検討しています。その一環として16議員全員に改革項目についてアンケート調査を実施しました。議会改革調査特別委員会では今後、このアンケート調査の内容を精査し、実施に向け検証していきます。

議員アンケート調査結果

主な改革項目

議会経費の削減

- ・視察研修2泊3日を1泊2日にする、慣例的な部分を廃止し必要な都度を実施する、3期以下の議員に限定して研修を行うなど
- ・定数を2人削減し14人にする、報酬を減額するなど

開かれた議会

一般質問をケーブルテレビで中継する、土日・夜間議会を実施するなど

議会の活性化

- ・通年議会の実施、議会基本条例の制定

一般質問の時間を延長する、執行部に反問権を与える、一般質問の対応策を町報に掲載するなど

親しまれる議会

- ・議長主催で全区長を対象にした意見交換会を行う、議会主催の地区ごとの懇談会の実施、定例会後に議員報告会を行うなど
(全18項目)

議員の期末手当削減 定数削減を集中審議

平成23年4月施行で、議員の6月12月の期末手当をそれぞれ100分の15ずつ削減することを提案し、今定例会で全会一致で可決しました。また、次回からの審査では議員定数削減を集中して審議します。

23年第1回臨時会

平成23年1月14日第1回臨時会が開催され、議案2件、同意1件を審議しました。

公の施設の指定管理者の指定は、選定委員会で候補者に選定されている「株まるひで」を指定管理者に決定するため議会の議決を求めたものです。賛成14反対1で可決となり、正式に決定しました。

また、一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億42万円を追加し、補正後の総額を94億1119万円とするものです。予算委員会で審議され、全会一致で可決しました。

一般会計補正予算2億42万円大幅増額
的山荘の指定管理者決定「株まるひで」

予算委員会

主な歳出

ワクチン接種補助

・国の補正予算で子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌の3種のワクチン接種に対する補助が可決されたことを受け、2月から接種事業を開始するための予算
983万円

道路・公園・学校整備

- ・平原深江港線 軒ノ井・上深江地区850m、豊岡住宅団地17号線 辻間団地区の舗装補修工事費 4400万円
- ・城下海岸遊歩道 LED街路灯14基設置、日出・豊岡地区520m舗装補修工事費 2900万円
- ・耐震の必要性が指摘されていた川崎小学校の耐震補強工事を前倒し 9605万円
- ・23年度の児童クラブの開設に合わせ、藤原小学校の進入路を整備 842万円

地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業

・「地域における知の拠点づくり」の取り組みとして万里図書館整備 658万円

積立金

・23年度に児童家庭相談員と図書館司書を増員するための積立 554万円

常任委員会

総務

別枠速見地域広域市町村圏事務組合
議員定数減
別枠速見地域広域市町村圏事務組合規約の一部変更は、構成する市町の議会の議員定数の減少と広域行政圏計画策定要綱の廃止に伴い、規約を変更するものです。ちなみに議員の定数は25人とし、定数区分は別府市13人、杵築市7人、日出町5人に改正となります。

所管事務調査報告



緊急事態に対応します（北浜公民館防災無線）

防災無線を順次設置、防災情報を収集し、また、住民に対して防災情報の周知をするために、日出町防災行政無線施工計画に基づいて、22年度は、親局1局と、子局である各ふれあいセンター、沿岸部の9局を、「きめ細やかな臨時交付金」を財源に整備をしていきたいと報告がありました。委員から22、23年度の計画に重要危険区域である沿岸部で入っていない箇所を指摘、早急に検討するようお願いをしています。

固定資産税評価替え

24年度固定資産税評価替えに向けて、雑種地評

価の見直しを検討していきたいと報告がありました。町の雑種地は近隣自治体と比較して全体的に評価割合が低い、特に駐車場、資材置き場の評価割合が低く、近隣自治体との評価の均衡を考慮して上昇させることが適当であるということでした。国民健康保険などにも大きな影響をおよぼすことから、今後1年をかけて、綿密な準備と慎重な審査が必要であると考えています。

閉会中の審査

11月16日開催
シルバー人材センター

県内14の市で設立されていますが、町でも各方面からのニーズに定めるため、23年4月の開業に向け、準備をしています。委員会では、設立準備金や開業後当面の町からの仕事の委託、保険や事務局員の人選など協議を行いました。万全の体制で支援するようお願いしています。その他、新たな地域通貨の取り組みを審査しています。

産業建設

火入れに関する条例の一部改正
由布市塚原で起きた人災事故を受け、火入れの際の規則を改善します。非補助土地改良事業（農業用道路舗装）融資償還助成に関する条例の廃止
事業を利用する人が全くないことや、材料を現物支給する他の制度で

間に合うことから条例そのものを廃止します。和解および損害賠償の額を定めること
上仁王地区の区画整理内の町工事でガレキが埋まっていたことに対し、土地購入者から町と土地開発公社が訴えられていた裁判で和解が成立し、相手方に167万円を支払います。

町道の廃止と認定
豊岡平道地区の町道を廃止した後、延長して認



工事を着手しました（豊岡小学校改築工事）

常任委員会

定します。また、川崎則次地区の団地内の道路を町道として認定します。

環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉への参加 反対を求める請願

請願の趣旨を尊重し、農業におよぼす影響を少なくし、食料自給率を高め、食の安全と安定供給を図るため採択。国に対し協定交渉の参加には慎重に検討すべきという意見書を出すようにしました。

新聞、町ホームページで公募をし、説明会に8団体が参加。最終的に申請した4団体からプレゼンテーション、ヒアリングを行い、町幹部・有識者からなる選定委員会で採点した結果、最高点を得た「㈱まるひで」に決定しました。現在、協定締結の詰め交渉を行っており、ととのい次第議会の議決を得た後、4月より管理を開始します。

閉会中の審査

11月1日開催

豊岡小改築事業の入札要件設定型一般競争入札で行い、予定価格、最低制限価格を公表し、品質の確保を図ります。委員から冷房施設を備えられないかなどの質問が出ました。

社会厚生

県外土の搬入は反対

意見書を県へ提出

9月定例会で、議員全員一致で採択した「日出港における土砂等の荷揚げ及びたい積行為に関する意見書」（県外土の搬入に反対するもの）を10月4日に別府土木事務所へ、10月7日に県東部保健所へ提出しました。両所長には、八代や三尺山の産廃問題がいまだに地域住民に迷惑をかけていることもあり、住民の心配に配慮し、生活環境を守る立場から、県外土の搬入には、反対する旨をしつかりと伝えました。

閉会中の審査

11月24日開催

小規模たい積許可申請（県外土を大神地区へ埋め立てる）

土砂などの小規模たい積行為の規制に関する条例第8条、許可の基準に照らし合わせ、町は、条件を付けて10月8日付で申請者に許可を出しました。担当課長から、小規模たい積地の崩落などの場



県外土埋め立て予定地を視察（大神地区）

合、責任の所在は、事業者および土地所有者にあり、もしもの場合は、事業者および土地の所有者に現状復帰を求めるとの回答がありました。教員を秋田県へ派遣町内各学校で学力向上の中心となる教員を全国学力・学習状況調査において全国1位の成績を収めている秋田県に派遣しました。指導の現場を視察・研修し、各学校における教職員の意識改革と

現行保育制度の 拡充に関する請願書

町保育協議会より提出されました。

国は、少子化社会対策会議において「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」を決定し、25年度から新制度の施行を目指すこととしています。このシステムは、市町村の保育実施義務をなくし、多様な業者の参入を促進し、保護者の負担を増大させ、保育を産業化するおそれがあります。よって趣旨を同意し、全会一致で採択しました。子ども達の健やかな成長のために、公的保育制度を堅持、拡充することなどを強く求め内閣総理大臣などに意見書を提出します。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 的荘の町の負担費用は

答 一定額の費用負担は考えています



森 昭人 議員

問 この1年間議会を揺るがすような大きな議論の末、選定委員会で大分市の「株まるひで」が指定管理者候補に決定しました。今後、議会の議決を経て、指定管理者の決定、協定締結、管理開始となりますが、これまでの経緯を改めてお聞きします。

商工観光課長 指定管理者制度は、効果的、効率的に公の施設を管理するため、民間の能力を活用しつつ、住民サービス

の向上と経費の節減を図ることを目的として、10月から公募を開始し、現地説明会に参加した県内の旅館やホテル業者など8グループの内、締切日までに4社の応募がありました。町へのメリツトや施設の維持管理能力などを考慮して採点した結果、宿泊業も手がけている食肉卸業の「株まるひで」を選定しました。

問 審査結果では「株まるひで」が774点、次点の団体が700



これからの管理・運営が重要です（的荘）

点と僅差でしたが、最終的に決定に至った決め手、要因は何だったと考えていますか。

商工観光課長 提案のコンセプトが、事業経営のノウハウを生かした計画性、具体性に富んだ内容であったこと、また、大分市のスポーツ公園の宿舎の指定管理者としての実績、そして資金力だと考えます。

問 これまで購入の1億2500万円に加え、調査費用や維持管理に多額の経費がかかりました。

指定管理決定後の維持管理を含む管理委託料など、町の負担経費をどう見込んでいますか。

商工観光課長 指定管理は基本的に独立採算制で、人件費や施設整備費などに関する経費は、指定管理者の収入をもって充てることになっていきます。しかし、庭園の維持管理費用と夜間警備費用は、町が指定管理委託料という形で支払います。老朽化などにもなう修繕も一定額を超える部分について町が費用負担することになると考えています。また、今後実施予定の国の文化財指定に向けた各種調査に係る費用も生じてくると思います。

問 使用理念にのっとり、仕様書に謳われた目的に沿った経営管理運営をすることが最も重要だと考えています。協定審議はじっくり腰を据え、時間をかけて行い、町民の皆さんに十分理解が得られる事業にしなければなりません。

町長 歴史的にも文化財としても評価の高い的荘を、これまで以上に成果を上げる取り組みをしてもらうよう、会社側としてしっかり確認をし、最後に課題が残らないようにしたいと考えています。

戦略的な
社会資本整備

問 行財政改革の推進で、行革前の16年度と21年度を比べると、地方債は16億8千万円減少、基金は7億6千万円増加し、今後も借金減少、預金増加の傾向は崩れないと考えます。人口増加や今後の町の発展には、削減予算を少し見直し、戦略的に社会資本整備や町民の皆さんにさらに還元する投資的社会保障予算を考えるべきでは。

町長 第2次行財政改革は、町民の皆さんに協力を得て、大変順調にうまくいっていると思っています。ただし政権が不安定な中、政策が明確になつていない点や、広域の大型事業負担など懸念事項もあり、財政運営をしっかりと見極めていくことが大変重要であると考えています。その中でも、人口3万人を目指し、人口が増えるような町づくりをしていかなければならないと考えています。

質問を終えて
多額の費用を費やした的荘、事業の成功は絶対条件。

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 隆信 議員

問 ボートピア
設置に反対を

答 地区で再協議を
して明白に

問 この件は3月、9月議会でも質問し、町長は住民の意向を見定め、町の方向を決めると言いました。かたや企業の誘致的な考え方とも言い設置を推進する方向と取れる発言をしました。ボートピア設置について地区ではいろいろな問題が起こつていますが町長の認識は。

町長 私のところに、何回も賛成派、反対派の方々が見えています。地

域で反発しあうよりも、一度皆さん方でお話しをして円満解決できませんかと、申しあげておりますが、なかなか実現できていません。

私の認識としては、地区で相別れて論議することには大変残念だと申しあげておきます。

問 豊岡地区の区長さんや地域の人達は設置に反対と言つて来ているのではないですか。

町長 昨日、区長さんがお見えになり会議を開いて反対の決議がされたので、その文書をいただきました。豊岡地区の区長さん方の判がありましたので、反対だったと思います。

問 町長は、設置すれば地域が活性化され雇用充実、商業の活性化、環境整備、町の発展になると言いましたが、豊岡地区をどのような町にしようとしているのですか。

町長 豊岡地区は、町が発展する契機になった豊岡団地や日出団地があり、別府に近く多くの家が立ち並び人口も多い地域で、人と自然が調和したふれあいと活力のあるすばらしい地域として発

展をしていただきたいと願い、町政を進めているところです。

問 豊岡地区全区長、地区の治安を守る人達も反対しています。この多くの住民の意向に沿い町長は設置反対を。

町長 会議を開く以上は過半数の反対が必要だと思つているので、もう一度地区で、再協議をして明白にしていきたい、その後判断をさせていただきます。

TPP（環太平洋
戦略的経済連携協
定）加盟に町長は、
反対を

問 政府は、2011年6月にTPP参加の足がかりを作る交渉を行うとしています。

日本の食糧自給率が13%に下がり、生産額が4兆5千億円減少すると言われています。町でも農林水産業に与える影響は大です。現在の農林漁業の年間売上高、経済・自然環境に与える影響は。

農林水産課長 町の農業産出額は、平成18年で41億8千万円、漁業生産



稲作が一番影響を受ける（TPP参加）

額は、7億5千万円、林業の生産額が2千万円程度となつており、これらを合計し約50億円ということになります。

プラス面は、関税の撤廃で一部の製造業で輸出の競争力が高まり、生産性が增大すると考えられます。

マイナス面は、輸入農産物の増加により農業が壊滅的な打撃を受ける可能性が高い。米の価格が

一気に下がるため、生産者は激減し水田の遊休化や水路管理などが行われないと考えられ、農村の崩壊につながり、農地や森林が荒廃し、農業とともに伝承されてきた地域文化の存在も危うくなる

質問を終えて

町長は、住民の声を

一般質問

Q&A ここが知りたい



工藤 健次 議員

問 スピード感を
持った行財政改革を

答 計画的に町政の
運営を図っていきます

問 国や県からの権限の移譲や補助金なども一括で入るようになる流れが進む中、経済は非常に厳しい状況が続いており、大幅な税収減が予想されるなどスピード感を持った行財政改革が求められます。第2次行財政改革プラン策定の趣旨で考えを述べられています。現在の状況下での考えをお聞かせ願いたい。

町長 今年の4月から第2次行財政改革に入っ

問 県では税収が41億円のマイナスになるといふことで、市町村の滞納対策係員を集めて車の査定講習をしました。担当職員を派遣したよう

税収減の対策は

町長 この問題も行財政改革の大きな柱の一つであり、中身は意識改革と給与関係の制度の見直しとなっております。意識改革をどうすすめるかという点では、担当を決め、研修計画や評価制度の問題も含めて検討しています。今後とも非常に重要な課題ととらえ努力していきます。

ていますが、多くの皆さん方のご協力によって、改革は順調に進んでいるというふうには認識しています。確かにリーマンショック以降の景気低迷などがあります。独自の町政を進めていくという観点から計画的にまた着実に町政の運営を図っていきたいと思います。

問 意識改革チームを立ち上げて、若い職員の方が活動を始めていますが十分機能していますか。

総務課長 日出町の状況は、独身者が新しく建設されたアパートに多数転入していますが、そういった若者層が、政治離

投票率低下の対策は

町長 町としてどういふことができるのか、考えなければいけないと思っています。

問 春には統一地方選挙で、知事選・県議会議員選挙が予定されています。日出町議会議員選挙と参議院選挙は60%台と投票率が低下しています。この投票率低下を町としてはどのように考えていますか。

問 春には統一地方選挙で、知事選・県議会議員選挙が予定されています。日出町議会議員選挙と参議院選挙は60%台と投票率が低下しています。この投票率低下を町としてはどのように考えていますか。

ですが、町としての滞納者対策などはどのようになっていますか。

税務課長 若年層には税務教育、青年層には自主納付を促すとともに、口座振替などの推進を図っていきます。その中で年4回の催告書の送付、訪問、夜間徴収など、納付意欲のない未納者に対しては税の公平性の立場から積極的に法的処分を実施していきたいと思っております。

れや無関心から投票に行かないことが投票率の低下に拍車がかかっているのではないかと分析しています。

具体的な対策としては期日前投票所での投票立会人の公募による採用です。これを投票日当日の投票立会人の一部に実施し、選挙に実際にかかわることにより選挙への意識が高まっていけるのではないかと考えています。もう一つの方策は、区長を中心とした各地区の「明るい選挙推進協議会」地区分会の立ち上げを考



貴重な一票、投票にいきましょう

質問を終えて
行財政改革の更なる
推進を

ています。現在結成されている協議会地区分会の下部組織として各区単位で協議会を設置し、選挙時に協議会構成員を中心に、明るい選挙の推進を各地区ごとに唱えていただくことができれば、地域での個々の声かけにつながり、選挙への関心の和が広がっていくのではないかと考えられます。

一般質問

Q&A ここが知りたい



後藤 佑 議員

問 待機児童の対策は

答 22年4 月度
待機児童はゼロ人です

問 22年4月、町内の保育園で待機児童がいたと思いますが、11月末までの推移は、どうなっていますか。

福祉対策課長 認可保育園の定員は7園で615人。定員以外の入所も弾力的に運用して良いと定められており、毎年4月と10月1日時点で国へ報告し、10月では11名ですが、4月の時点では希望者はすべて入所、年度途中から待機者が出て来

る状況が続いています。**問** 児童館では、小学生は保護者同伴でなく、幼稚園児は同伴でないというところですが、考える必要があるのでは。保育園、幼稚園、保護者などの代表でいろんな問題点を出し、いい方向に持って行くような打ち合わせをやったことがありますか。

福祉対策課長 行事参加や予防接種などの保健に関することは話しましたが、懇談会の開催はしていません。なお、待機児童の関係もあり、5歳児が保育園でなく、幼稚園に入園していたら待機児童の減少につながると考えますが、児童はゼロ歳から2歳児が多く解消は幼稚園、就園率の向上だけでは解決するものではないと考えています。

問 幼稚園に行くべき方が保育園に行き、定員も約30名多いですが、危険といった面を考慮しなければと思うのですが。

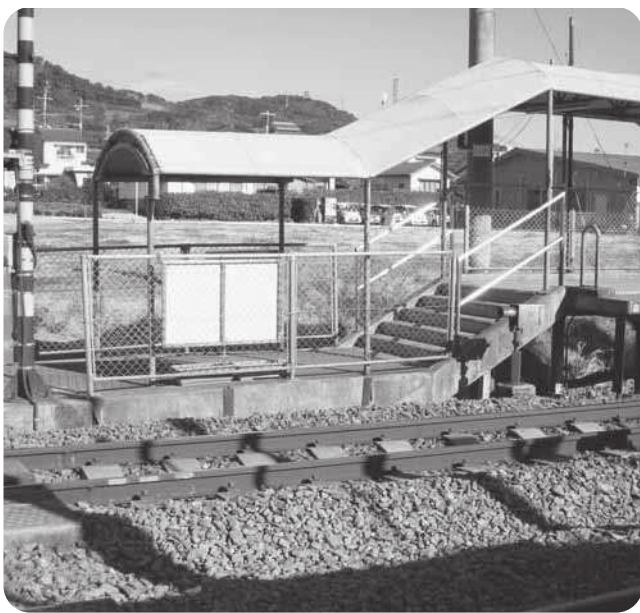
福祉対策課長 基準内で受け入れています。12月1日現在707人が入所しています。児童福祉施設最低基準を満た

していることは絶対条件となっており、これを満たしていないということはありません。

湯谷駅の バリアフリー

問 車イスを利用している町民が、日出駅か湯谷駅で電車を利用できるように検討していると思いますが、その後の状況は。

企画振興課長 昇降機をJIRと協議しましたが、安全装置などのことで稼働がうまくいかず、使う



車イスが利用しやすい駅へ（湯谷駅バリアフリー化）

ことは許可しないことになっており、安全上の問題からスロープ設置が最善策であるという結論に至りました。しかし、延長や補強工事などで設置費用が高額になるので、応急処理的なスロープの設置は得策ではなく、来年度からのまちづくり交付金の第2次事業の中に含めてできないか考えています。

学校体育 ソフトボール

問 24年度からの球技、ベースボール型ソフトボールが中学校1、2年生の必須となっていますが、先取りして前向きに検討してもらいたい。

豊岡公園に 何かアクションを

問 今のまま放置すれば、イノシシの巣やマムシの宝庫になってしまいうので、道路を作るとか草刈をするなどの行動を

都市建設課長 買収済み用地内の活用をはじめ、公園、道路について整備形態や手法の具体的な検討を関係者と意見交換をし、一定の方向づけを行っていきます。

質問を終えて

待機児童解消期待しています。計画的に要望にこたえてください。

一般質問

Q&A ここが知りたい

校庭を
芝生化しては

問

まずは
幼稚園から

答



池田 淳子 議員

問 芝生の弾力性がスポーツ活動に安全性と多様性をもたらし、環境的にも砂塵や土ぼこりの飛散防止、夏場の照り返しや気温上昇の抑制効果があります。昨年の3月議会で豊岡小学校をモデル校として取り組んではその後の検討結果は、

教育総務課長

今の子どもたちは外で遊ぶことが少なく、家の中でゲームをしている傾向があり、

校庭を芝生化することは、体力的、健康的な面から重要なことと考えています。県立学校では既に21、22年度に特別支援学校11校を芝生化しています。また、モデル校でも効果や維持管理上の課題を調査検討しています。それらの結果を参考に引き続き検討していきたいと考えています。町教委としては、利用頻度や発達段階に応じて、身



園庭の芝生化を行います（日出幼稚園）

につけておくことが望ましい動きや能力を養うのに、効果が最も期待される幼稚園児を対象として、幼稚園を先行していきたいと思えます。

問

格安で維持管理もしやすい鳥取方式や文科省からの交付金もあるのでは。

教育総務課長

鳥取方式でやりたいと思っております。また、協働のまちづくりということで教職

員や保護者の協力もいただきたいと考えています。文科省の交付金については調査させていただきま

す。

※鳥取方式とは
グラウンドの面積や利用人数に応じて最適な方法で芝生を施工し、必要最小限の維持管理により低コストで芝生を管理していく新しい芝生化の手法。

施工方法は、タイプトと呼ばれる芝をポットに植えて苗を作り、生長した苗を40〜50cm間隔で校庭に植えつけ、芝が横に伸びるのを待つ。2〜3カ月後には表面が芝で覆われて完成。

維持管理は、芝刈り、施肥、灌水が中心で、原則として除草や薬剤散布は一切行わない。（雑草も芝生の一部とみなす）

**認可保育園に急に
入園の必要が生じた
場合の対応は**

問 待機児童数の把握はできていますか。

福祉対策課長

定員外の入所は弾力的に運用して良く、児童福祉施設最低基準を満たしていれば、

定員超えの入所を各保育園にお願いしています。ただ、年度当初は若干の余裕がありますが、年度後半にはゆとりが無くなっているのが現状です。したがって、急な入園が必要な場合、対応できないのが実態で、認可外の保育園を紹介するなどの方法しかありません。

問

認可外保育は保育料が高くなる面があります。突発的な事態に対し、年度途中の特別枠を設けることはできませんか。例えば兄弟の場合、優先して同じ園に入れるよう制度を拡大することは。

福祉対策課長

兄弟が今保育園に行っていて、お母さんが次の子を出産し、同じ保育園に入れるかという場合は、若干余裕を持たせています。しかし、いつ発生するか分からない急遽入所については、今のところ枠はありません。

質問を終えて

環境の面にも効果をもたらす芝生化の推進を。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 合併しなかったことの総括を

答 内部で検討します



熊谷 健作 議員

問 平成の大合併から5年以上が過ぎ、これからの町づくりのために合併議論の際のシミュレーションをもとに合併、非合併を比較し、行政、経済、人口構成、農林水産業、インフラ整備、文化、過疎地域対策、住民負担など、多岐にわたって検証すべきでは。

町長 調査検証は今する、しないというのはちよっとお答えしかねますし、

十分内部で検討させていただきたいと思えます。

問 町長1期目は行財政改革をしっかりとやらせて結果を出したことは認めています。しかし、2期目は無投票で当選され、政策の中に核の理念がなく、本当に的確かどうかわからない事業を選択して進めているという気がしています。これから町政を担う町長として、これをやるんだということがありますか。

町長 政策目標がないとは決して思っていない。抽象的ですが、人と自然が調和したふれあいと活力あるまちづくりと掲げ、予算を編成していますし、実態的なことをしっかりと見極めて、恵まれた資源や歴史を生かして頑張っています。観光面だけに付くという話もあります。教育の問題、生活環境の整備、医療や福祉全ての部門が大切で、しっかりと手を入れています。

問 町民の心に訴える政策づくりをしていたきたい。

町長 ホームページや

広報誌、地区懇談会や移動町長室で精一杯訴えています。皆さんに伝わっていないことは、私の不徳のいたすところです。今後とも町民の皆さんに理解していただけるよう精一杯努力させていただきます。

観光と教育

問 6月議会で指摘した小中学校への観光客の立入りが目立ってきています。全く何らの対策もしていませんが、どのように考えていますか。

教育長 普通日に、小中学校は天守閣跡や鐘楼を見学し、大体月に2、3日、1日当たり1人とか、多いときには10人程度の団体が訪れるとのことですが、授業中にグラウンドを横切るようなことはないと聞いています。中学校では山茶花を見に月に1日、2日で多くても5人程度ということですが、授業に支障をきたす状況であれば、職員が出て学校に届け出る旨注意を促すよう指導していますが、これまでトラブルはなかつ



授業中の観光客の立入りはやめて（日出小学校鐘楼）

たと聞いています。

問 中学校前の道路が、山茶花を觀賞して的山荘に向かうための観光通路になると考えます。学生が授業に集中するために警備員の配置をお願いします。

商工観光課長 今年からボランティアガイドの人数が増え充実してきました。ボランティアガイドを交代で各所に配置することは検討していき

いと考えます。

町長 町道を学校通路として使用しているの、警備員配置は問題があると思います。教育委員会が設置している看板はもう少し強い口調で「通行禁止」など掲げるべきだと言っています。

質問を終えて
観光行政も必要ですが、教育はもっと大切

行政視察

産業建設 常任委員会

日時

22年11月24日～26日

研修先

佐賀県白石町、鹿島市、

唐津市

福岡県糸島市

熊本県山鹿市

参加者

委員長 熊谷 健作

副委員長 白水 昭義

委員 佐藤 克幸

委員 藤井 博幸

商工観光課長

工藤 要一

都市建設課長

川西 求一

議会事務局次長

井川 功一

研修目的

新規就農者への支援事業とまちづくりの取り組みを学ぶため。

白石町

耕地面積が6千町歩と県内有数の農業地帯で米、玉ねぎが主な作物。玉ねぎの残渣などを処理するための環境にやさしいバ



伝統的建物（茅葺屋根を再現）を見学（鹿島市）

イオマスタウン構想を立ち上げ、今のところは牛のたい肥をお茶の残渣と混ぜて肥料にして販売しています。

鹿島市

文化庁選定の重要伝統的建造物群保存地区に市内2カ所が選ばれ、大規模な酒蔵を始めとする独特な歴史的建物による町並みを作っています。保存と観光を両立することや、消防施設に多額の費用がかかるなどの問題も抱えています。

唐津市

「からつで農業をやってみませんか」事業を実施し、新規の就農希望者にビニールハウスや露地の研修施設でチャレンジ実践研修を受けさせています。まだ緒にいたばかりですが、少しでも農家の減少に歯止めをかけるようとしています。

糸島市

「つまんでご卵」というブランドの卵を生産している鶏舎を視察しました。鶏舎の構造を工夫しているため、全く臭いが出ず、ほこりもありません。卵の売れ行きも良く、経営を希望する人に



観覧席で説明を受けます（山鹿市八千代座）

山鹿市

は指導をするそうです。百周年を迎える芝居小屋「八千代座」を中心としたまちづくりを行って「まち作り交付金」の補助事業と景観を守る「まちなみ整備」の市の単独事業の二本立てで推進しています。発端は地元の人々の「瓦一枚運動」という募金事業から始まったもので、民間の熱意で行政が動かされた事業です。

以上の視察を終えた感想は、どの市町もそれぞれの歴史、産業、風土を踏まえて、これからの生き残りや発展を目指して独自の事業を展開しています。その成否は首長や担当職員の熱意とそこに住む人たちの理解と協力にあると思われれます。特にまちづくりでは官からの押しつけでなく、民間からの盛り上がりがあることで、はじめて成功するのではと実感しました。

行政視察

社会厚生 常任委員会

日時

22年11月4日～6日

研修先

秋田県大仙市
大仙市教育委員会
大仙市立大曲西中学校
大仙市立花館小学校

参加者

委員長 上野 公則
副委員長 佐野 故雄
委員 佐藤 二郎
委員 田原 忠一
委員 池田 淳子
議長 長城 美津夫
学校教育課長 清家 健志

議会議務局副主幹 重岡 由美

研修目的

秋田県は、国が小学校6年生と中学校3年生を対象として実施している全国学力・学習状況調査において、4年連続全国第1位の成績を収めています。(大分県は40位程度)

そこで、秋田県の中でも特に優秀な成績である大仙市教育委員会と市内の小中学校を実際に訪問することにより「学力向上の具体的な取り組み」

と秋田県も取り入れている「二学期制の現状」について検証し、少しでも町の教育行政に生かさればと研修視察を行いました。

大仙市教育委員会

大仙市は、秋田県の南東部に位置し、17年3月に大曲市を中心に8市町村が合併して、誕生した市です。

学力向上は、教育研究所が中心になり、各学校から選ばれた先生をメンバーとして、学力向上推進委員会を立ち上げています。推進委員会は、学習状況調査の分析と分析結果に基づき、フォローアップシートを作成し、各学校に提供しています。

大仙市立大曲西中学校

教員数21名、生徒数107名の学校です。学校の内外がとてきれいで、清掃が行き届いており、掲示物や荷物も整理されていて、気持ちよさが漂う学校でした。

- 生徒は素直で規範意識が高い
- 教師の熱意が率直に受け入れられている環境にある
- 二学期制は、授業時間の確保と学習の継続性



少人数での理科の実験（大仙市立大曲西中学校）

を意識しています。6年目を迎えるが、子ども達は柔軟性があり、上手に対応しているし、保護者からの苦情は、ないとのことです。

大仙市立花館小学校

教員数32名、児童数369名の学校で、マーチングバンドが盛んで全国大会にも毎年出場し、優秀な成績を残しています。学校に入ると、どの子

達が生き生きとしており、先生との一体感が感じられ、心がなごみました。

好成绩を上げている要因として、

- 温かい家庭環境のもと、しつけや基本的な生活習慣がきちんと身に付いている

- 保護者を含めた地域が、学校教育に深く関わっていて子ども達が集中して教育を受けられる環境が整っている

- 学校において創意工夫を生かした特色ある教育活動が展開されており、それが徹底されている

今回の視察研修で、行政・学校・保護者・地域が一体となった教育の必要性を改めて確認することができました。今後の町の教育行政の推進に、大いに参考となる、研修だったと思います。

も元気が良く、挨拶がとでも良くなります。もちろん先生方もです。学校には、「スクールサポーター」と呼ばれる保護者や地域の方々がたくさん来てくれるそうです。

先生方の授業を見ましたが、服装などに清潔感が漂い、まるで教員採用試験の模擬授業を見ているようでした。授業の流れもスムーズで、子ども

町民の声

素敵な町「日出」

藤原一北区 鈴木明久



私は日出に住んで64年になりますが、途中大阪、博多に住んだ事もあり、また自転車旅行九州一人旅で帰途別府湾の陽光に照らされた日出の素晴らしさ等自然環境の良さは他に類をみません。

結果として、各人はより安全な大企業、公務員志向、行政に期待し、様々なミスマツチが起きています。

ただこの自然のやさしさは時として人を怠惰にさせます。歴史をみても自然環境のきびしい北の国が温暖な南を支配する傾向があると言われています。

今までの豊かさの享受はたまたまの歴史の偶然（豊かなアメリカ市場と国内の豊富な若年労働力のマツチ等）の結果で今後はその裏返しが来るようにすべての事象は表裏一体、長所は短所の自覚が大切です。唯一不変なのは天然自然で、人の営みは泡沫の様なものです。

日出町でも外から来た人々がよく努力するということに耳にしますし、最近では商店街が大手流通業にとつて代わられています。これは個々の経営努力だけでは対抗できない経済のグローバル化等の影響が大きいわけですが「座して死を待つ」のは面白くありません。さらに一次産業でも最近のTPP問題で自由化すれば農業は崩壊すると問題になっているように世界の動向がすぐに日出町の個人にまで影響を与えます。

世の流れがいかに変わろうと日出町の素晴らしい自然は変わりません。山海の珍味を経済力で世界から収奪してはいけません。地元の海の幸、山の幸を地域内で循環させることが肝要です。豊の国日出町の価値はここにありません。年金が少なくと社会保障の充実を唱えても無い袖は振れません。豊かな地域の恩恵に感謝しながらの自己実現が肝要です。

議会の今後の予定

- 3月 2日 定例会初日
- 4日 定例会中日（一般質問）
- 7日～11日 常任委員会予算
- 14日～16日 常任委員会所管
- 17日 常任委員会予算
- 18日 特別委員会（議会改革）
- 18日 特別委員会（議会改革）
- 23日 定例会最終日



堀田 義人氏 (60歳) (川崎平原)

議会を傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。あなたの身近なこともかもしれません。簡単な手続きで、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

編集後記

「日出は水がおいしいですね」と町外の知人は言う。海の幸、山の幸は新鮮で、すばらしい文化財もある。日出町にはたくさん素材があふれているのにうまく活かされていらないように思う。

昨年の暮れ、故郷日出町を想う青年と懇談の機会があつた。日出町の掲げるビジョン実現の支援のために、チームを作り、遠く離れた東京からサポートをしてくれるという。そのチームには町出身でない方もいる。

若い人の発想、外からみた日出町。固定観念や既存概念を取っ払い、実現可能なアイデアが期待される。結果は別として、こうしたプロジェクトが若い人たちによつて動き出すとして、ことに感動。地元に住む私たちも負けてはいられない。(池田 淳子)

- 編集委員長 森 昭人
副委員長 池田 淳子
委員 熊谷 健作
委員 上野 公則
委員 工藤 健次
委員 藤井 博幸